

## 目標達成計画

作成日：令和4年3月14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	言葉使いが不適切であったり、なれ合いの声掛けになってしまうことがある	・接遇の改善 ・認知症の特性を理解した上での声かけが出来るようになる。	・研修の実施(接遇・認知症について) ・毎月のスタッフ会議にて振り返りの機会を持つ	12ヵ月
2	33	重度化及び看取りに関する指針に関して	重度化及び看取りに関する指針の内容を、職員間で共有できるように努め、尊厳に充分配慮した終末期の介護をおこなえるようにしていく。	・施設内研修や各ユニットの会議において、全職員に周知できるよう努めていく。	12ヶ月
3	37	入居者の意見や思いを普段の関わりから聞くように努めているが、口頭での情報共有はしているも記録に残す事が少なくコミュニケーションが困難な入居者とはあまりできていない。	入居者の意見や思いを知ることができる	・普段の関わりから興味・関心があれば記録に残しミーティングで情報共有を行い実現性の高い事は実施できるように工夫をしていく。 ・コミュニケーションの困難な入居者は家族から情報を聞き少しでも日々の生活の中で反応が出るようにする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。